改訂のポイント④よりわかりやすい構成(記載内容整理・名称変更等)

改訂のポイント④ よりわかりやすい構成(記載内容整理・名称変更等)

□ 設計者や事業者等においてガイドラインの活用が促進されるよう、基準等を探しや すくするために記載内容を再整理するとともに、内容を想起しやすい名称への変更、 「当事者参画」「既存改修」に係る項目の分冊化等を行う

【改訂の考え方】

- ◆ 記載内容の再整理 基準等を探しやすく
 - ▶ 義務基準と併せて、望ましい基準や解説図が確認できるようレイアウト等を再構成
- →次ページ

- ▶ 情報にたどり着きやすくするため、インデックスを追加 等
- ◆ 名称変更 内容を想起しやすく
 - ▶ 設計者や事業者に配慮を求めるバリアフリー対応に特化した指針であることを明確化

(旧) (新)

大阪府福祉のまちづくり条例ガイドライン **福祉のまちづくりのための施設整備バリアフリーガイドライン**(仮称)

- ◆ 分冊化 使いやすく
 - ニーズに応じて容易に使い分けることができるよう、項目ごとに分冊化

ガイドライン(本編)

+

「当事者参画による設計・計画」編(別冊)

「既存施設(小規模店舗)の改修 (編(別冊)

ガイドライン記載内容の再整理

【現行ガイドラインに対する主な意見】 ※設計者ヒアリング

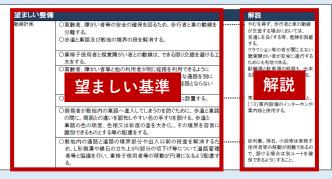
- ✓ 義務基準を確認するために使用する場面が多く、望ましい基準に気づきにくい
- ✓ 基準と解説図をセットで確認したい、なぜこの基準が必要か理解しておきたい 等



現行

- → 義務基準(●)と望ましい基準(○)を分けて記載
- 基準と解説を別セルに配置
- 解説図の一覧を別表で整理







改訂案(主なポイント)

- 事準、設計時に参考となる内容、解説を一目で確認できるよう記載
- ② 義務基準(●)と推奨基準(○)を一体的に整理
- ③ 参照図表番号を基準や解説の横に配置
- ④ 記載順を「基本的な考え方→チェック項目→基準・解説」に見直し
- ⑤ ページの端部に見出しを追加 等

